

新規事業採択評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

事業名 一般国道1号 ^{せき} 関バイパス（延伸）	事業区分 一般国道	事業主体 直轄
---	------------------	----------------

起終点 自： ^{かめやま} 三重県亀山市小野町 ～ 至： ^{すずか} 三重県鈴鹿郡 ^{せき} 関町会下 ^{えげ}	延長 1.4 km
---	------------------

事業概要

一般国道関バイパスは、現道1号の渋滞緩和及び交通安全の確保、地域開発支援のために計画された亀山市太岡寺町から関町沓掛までの延長約7.1kmの道路である。

本道路は、亀山市太岡寺町から同市小野町までの延長L=1.1kmを平成8年度に事業化しており鋭意事業を進めているところである。

近年周辺地域の工業団地及び住宅等の開発が進んでおり、既事業化区間の終点部の小野交差点における渋滞が問題となっており、既事業化区間終点部よりL=1.4kmの延伸し、渋滞解消を図るものである。

事業の目的、必要性

現在、開発中である大規模工業団地（亀山・関テクノヒルズ）の本格的な稼働（シャープ（株）・凸版印刷（株）平成16年1月稼働予定）が見込まれているが、当工業団地開発の効果を十二分に発揮するために、平成19年度までに関連道路である県道四日市関線BPと連携し、現国道1号までのアクセス道路として整備を行うものである。

全体事業費	63億円	計画交通量	12,000台/日
費用便益比	B/C	総費用	総便益
	1.9	57億円 （事業費：52億円 維持管理費：5億円）	107億円 （走行時間短縮便益：80億円 走行費用減少便益：13億円 交通事故減少便益：14億円）
			基準年 平成15年

事業の効果等

I-(3) 中心市街地の活性化 中心市街地へ至る現道が混雑

II-(2) 地域・都市の基盤の形成 白川スカイヒルタウンへのアクセス改善

II-(3) 地域づくりの支援 亀山・関テクノヒルズへのアクセス改善

IV-(1) 道路の防災対策・危機管理の充実 緊急輸送道路ネットワーク計画に位置付け（第1次）等

関係する地方公共団体等の意見

平成7年度より「一般国道1号 関バイパス建設促進期成同盟会」にて毎年、要望。

